

アフエレーシスに関わる医療者の皆さまへ

この研究は、アフエレーシス施行中に地震が発生した際の対応に関する医療者の認識と現状を把握することを目的とした、無記名 Web アンケート調査です。

【研究課題】アフエレーシス中の地震発生時対応に関する医療者の認識と現状調査

1. 対象となる方

病院においてアフエレーシスに関与している、または過去に関与した経験を有する医療者（医師、看護師、臨床工学技士、臨床検査技師など）です。

2. 研究目的・意義

- ・ アフエレーシス中の地震発生時対応に関する医療者の認識・判断基準・経験を把握することを目的としています。
- ・ アフエレーシスは体外循環を伴う医療行為であり、施行中の地震はライン牽引、針の抜去、出血、回路破損など重大なリスクを生じます。しかし、国内外のガイドラインにはアフエレーシス中の災害対応が明記されておらず、施設ごとに対応や判断基準が大きく異なる可能性があります。
- ・ 本研究により、災害時対応のばらつきや課題を明らかにし、安全なアフエレーシス医療の提供に資する基礎資料を得ることが期待されます。

3. 研究方法・研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 本研究は、無記名 Web アンケート調査として実施します。
- ・ 研究説明文書を Web 上に掲示し、内容を確認した上で「同意する」を選択した方のみ、アンケート画面へ進みます。
- ・ 収集する情報はアンケート回答のみであり、氏名、所属施設名、メールアドレス、端末情報など、個人を特定できる情報は取得しません。
- ・ アンケートは 5～10 分程度で回答可能です。

4. 利用又は提供を開始する予定日

○年○月○日

5. 研究期間

倫理審査承認日から 2028 年 3 月 31 日まで

6. 個人情報等の取り扱い、外部への試料・情報の提供

- ・ 本研究は無記名アンケートであり、個人を特定できる情報は取得しません。
- ・ 回答データは研究責任者がパスワード管理された環境で保管します。
- ・ 研究協力者に共有するのは、研究責任者が本学内で集計した個人を識別できない集計データのみであり、個々の回答データ（ローデータ）を外部へ提供することはありません。
- ・ 外部機関への試料・情報の提供は行いません。
- ・ 研究終了後 3 年間保存した後、適切に廃棄します。

7. 研究の資金源及び利益相反

本研究は、研究者個人による自主研究であり、外部からの資金提供、企業等との利益相反はありません。

8. 研究組織

【研究責任者】

自治医科大学附属病院 臨床工学部 松岡 諒（臨床工学技士）

【研究協力者】

東京慈恵会医科大学附属病院 輸血・細胞移植部 佐藤智彦（医師）

千葉大学医学部附属病院 看護部 猪越ひろむ（看護師）

9. 対象になることを望まない場合の申し出 及び お問い合わせ先

① 対象になることを望まない場合

- ・ 本研究は、研究説明文書を確認した上で「同意する」を選択した方がのみが回答できる同意方式の無記名 Web アンケート調査です。
- ・ そのため、研究対象となることを望まない場合は、アンケート画面に進まず、回答を行わないことで対象から外れます。
- ・ 回答後のアンケートはすでに個人を特定できない状態で保存され、あなたのデータを特定できないため、回答後にこの研究への参加を取りやめることが出来ません。
- ・ 回答を行わなかった場合でも、将来にわたって不利益が生じることは一切ありません。

② お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の【照会先】までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、研究計画書及び関連資料を入手または閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、本研究に関して苦情がありましたら【苦情の窓口】に平日の 8 時 30 分から 17 時までにご連絡をお願いします。

【照会先】

自治医科大学附属病院 臨床工学部 松岡 諒

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1

E-mail : matsuoka.ryo@jichi.ac.jp

電話 : 0285-58-7202

【苦情の窓口】

自治医科大学附属病院 臨床研究センター管理部

電話 0285-58-8933